

健康危険情報

なし

研究発表

a. 論文発表

○壁屋康洋：リスクアセスメントと共通評価項目の現在と未来（第10回日本司法精神医学会大会シンポジウム関連講演）. 司法精神医学, 2015; 10, 20-29.

b. 学会発表

○常包知秀、壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（25）～入院から4ヶ月以内の院内暴力の予測. 国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日.

○天野昌太郎、壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（26）～初回入院継続後の院内暴力の予測. 国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日.

○高橋昇、壁屋康洋、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（27）～入院継続後の院内暴力予測モデルの探索. 国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日.

○壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（28）～入院継続後3ヶ月間の院内暴力の予測. 国立病院機構総合医学会、札幌市、2015年10月3日.

○砥上恭子、壁屋康洋、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（29）～入院6ヶ月以降の院内自殺企図の予測. 日本心理臨床学会、神戸市、2015年9月19日.

○高橋昇、壁屋康洋、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（30）～院内自殺企図予測モデルの探索. 日本心

理臨床学会、神戸市、2015年9月19日.

○壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（31）～入院から4ヶ月以内の院内自殺企図の予測. 日本心理臨床学会、神戸市、2015年9月19日.

○砥上恭子、壁屋康洋、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（33）～医療観察法病棟退院申請時のGAF評価による問題事象の予測. 司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日.

○高橋昇、壁屋康洋、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（34）～医療観察法病棟退院申請時のICF評価による精神保健福祉法入院・症状悪化による入院の予測. 司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日.

○壁屋康洋、砥上恭子、高橋昇：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（36）～医療観察法退院申請時のICF評価による問題行動の予測.（共同発表：）. 司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日.

○高野真弘、壁屋康洋、高橋昇、砥上恭子：共通評価項目の信頼性と妥当性に関する研究（39）～通院移行時の居住地による比較. 司法精神医学会、名古屋市、2015年6月19日.

知的財産権の登録・出願状況

a. 特許取得

なし

b. 実用新案登録

なし

c. その他

なし

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
壁屋康洋	リスクアセスメントと 共通評価項目の現在と 未来（第10回日本司法 精神医学会大会シンポ ジウム関連講演）.	司 法 精 神 医 学	10	22-29	2015 年